

☆中 国

合繊原料

桐昆、恒力の PTA 工場、稼働開始へ

建設が進められてきた大手ポリエステルメーカー桐昆集団の PTA 工場（年産 150 万ト）の第 1 ライン（同 75 万ト）は 9 月 5 日に試験運転に成功、その後、順調にフル稼働している。また第 2 ライン（同 75 万ト）も 9 月 10 日に稼働を開始した。

また、恒力石化は PTA 工場（年産 220 万ト）の試験運転に成功、9 月 19 日、生産開始の式典が行われた。

中国化繊情報網によると、この両社の PTA 工場の稼働開始によって、中国の現有 PTA 設備能力は、年産 2,528 万トに達したという。

繊維景況

泰和新材料、スパンデックスの需要回復へ

大手スパンデックスメーカー煙台泰和新材料の 2012 年上半期の売上高は前年同期比 4.77% の 7.53 億元、純利益は 76.04% 減の 3,006 万元、営業利益は 80.59% 減の 2,915 万元であった。ただし、四半期で見ると、第 2 四半期の売上は 11% 増、営業利益は 417% 増であった。

同社のスパンデックス事業は売上高の 68%、利益の 32% を占めており、2011 年上半期、下半期、2012 年上半期のスパンデックスの粗利益率はそれぞれ 23.23%、2.7%、5.6% で、2012 年上半期は改善が見られた。スパンデックス 40D の価格をみると、2011 年上半期、下半期、2012 年上半期の平均価格は、それぞれ 55,385 元/ト、44,928 元/ト、45,416 元/トであり、半期比で改善が見られた。しかし、原料の PTMEG 価格は前年同期比で下落しているが、MDI 価格は横ばいであったため、利益は前年同期比で減少している。

アラミド繊維事業は同社の売上のうち 29% を占め、利益の 68% を占める。各種の防護基準が制定、実施されるにつれ、国内防護分野における同社のメタ系アラミド繊維の販売量は急速に伸びているといい、実際、2012 年上半期の主要な利益源となった。しかし輸出が大きく減少し、国内販売の増加で補うことができなかつたため、メタ系アラミド繊維の全体的な販売量は前年同期を下回る結果となった。

同社のパラ系アラミド繊維は、現在、段階的に販売されている状況であり、自動車用ゴムホース、光ファイバーケーブル、摩擦材分野などで広く用途開発が進められている。販売量は 2011 年下半期より大幅に増加しているものの、まだ上半期の利益には貢献できていないという。

輸 出**繊維品輸出、前年実績割れに---1-8月**

中国海関統計によると、2012年1-8月の中国の繊維品輸出は前年同期比0.7%減の1,620億ドルとなった。そのうち、紡織品は前年同期比0.7%減の625億ドル、衣類は同0.7%減の994億ドルであった。中国の繊維品輸出は2011年に前年比20%増の2,479億ドルの過去最高となったが、2012年に入り、中国国内の繊維産業のコスト上昇や主要市場である欧州の景気不安の影響から、その伸びは鈍化している。

中国の繊維品輸出 (100万ドル、%)

	2012年8月	2012年1-8月	前年同期比
紡織品	8,042	62,513	-0.68%
衣類	16,558	99,481	-0.70%
合計	24,600	161,995	-0.70%

以 上